第十九講・敬語

◆敬語（けいご）

敬語とは、相手をうやまう気持ちで使うことばです。

敬語には次の三種類があります。

(1) **尊敬語**（そんけいご）＝相手や話の中に出てくる人を直接うやまうことば。

・「お（ご）……になる（なさる）」の形にする。

例　お読みになる
　　ご出席なさる

・尊敬の意味を表す「れる」「られる」をつける。

例　読まれる
　　来られる

・尊敬の意味を表す特別なことばを使う。

例　いらっしゃる
　　おっしゃる
　　くださる

---

(2) **けんじょう語**＝自分がへりくだることによって相手をうやまうことば。

・「お（ご）……する」の形にする。

例　お話しする
　　ご報告する

・へりくだる意味を表す特別なことばを使う。

例　いただく
　　うかがう
　　申す

(3) **ていねい語**＝ていねいに言うことば。

・「です」「ます」「ございます」をつける。

例　山田です
　　来ます
　　おはようございます

・「お」「ご」をつける。

例　お米　お茶　ごほうび

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

◆〈注意〉

敬語を正しく使わなければ、かえって失礼になります。特に次のようなまちがいをする人がたくさんいるので、注意が必要です。

(1) **尊敬語を使うべきところでけんじょう語を使う。**

うやまうべき相手のすることを表すのに、けんじょう語を使ってしまうまちがいが多くみられます。

例　×　船長さんが連絡(れんらく)をいたしました。

○　船長さんが連絡をなさいました。

(2) **けんじょう語を使うべきところで尊敬語を使う。**

自分や自分の側の人がすることを表すのに、尊敬語を使ってしまうまちがいもあります。

例　×　母さんがお書きになります。

○　母がお書きします。

(3) **敬語を重ねる。(二重敬語)**

例　×　お客様がお帰りになられます。

○　お客様がお帰りになります。

○　お客様が帰られます。

※「お……になる」か「れる」のどちらか一方で良いです。

例　×　どういたされますか。

○　どうなさいますか。

○　どうされますか。

※けんじょう語の「いたす」に「れる」をつけても尊敬にはなりません。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の――線のことばは**ア**～**ウ**のどの言い方にあたりますか。それぞれ記号で答えなさい。

① 私がそちらにまいります。
② 先生がごらんになる。
③ 春も近いようです。
④ お客様が昼食をめしあがる。
⑤ 社長はもう帰られたようだ。
⑥ 友達のお父さんにごあいさつした。

ア 尊敬語
イ けんじょう語
ウ ていねい語

---

2 次の――線部のことばを、（　　）内の指示にしたがって敬語に直しなさい。

① 園長先生が時計を買う。
（「れる」「られる」を使って尊敬語に）

② 先生の本をかりる。
（「お（ご）……する」の形のけんじょう語に）

③ これから駅に行く。
（「です」「ます」を使ってていねい語に）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次の尊敬語とけんじょう語の特別なことばをまとめた表の空欄（くうらん）にあてはまることばをあとから選び、記号で答えなさい。

ふつうの言い方	尊敬語	けんじょう語
いる		おる
する	なさる	
食べる		いただく
言う		申す・申し上げる

ア　めしあがる　　イ　まいる
ウ　うかがう　　エ　いらっしゃる
オ　くださる　　カ　おっしゃる
キ　いたす　　ク　ごらんになる
ケ　さしあげる

---

4 次の文のうち、敬語の使い方のまちがっているものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

ア　これからわたしたちが校内をご案内なさいます。
イ　あの時計は王女がくださったものです。
ウ　いつうかがえばよろしいですか。
エ　決してごめいわくになるようなことはいたしません。
オ　校長先生がわたしたち二組の展示（てんじ）をはいけんしました。
カ　その件は、母にもお伝えしておきます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5 次の各文は敬語の使い方がまちがっています。まちがっている部分に――線をつけ、正しく書き直しなさい。

① 先生が食事をいただいています。

② あの方には、私がお話しになっておきます。

③ どうぞ拝見（はいけん）されてください。

④ 国王は明日おいでになられます。

---

6 次の――線部の敬語の種類をあとのア～ウから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① あすの午後、うかがいます。

② 本日は、ありがとうございました。

③ 先生はお出かけになりました。

ア　尊敬語
イ　けんじょう語
ウ　ていねい語

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7 次の――線部は敬語としてまちがっています。正しい表現に直して書きなさい。

① 先生が、ぼくたちの絵を拝見しています。

[　　　　]

② どうぞ、冷めないうちにお食べしてください。

[　　　　]

③ 母がよろしくとおっしゃっていました。

[　　　　]

---

8 次の電話での会話で、まちがった敬語の使い方をしているものが二つあります。その文の番号を□に書き、正しい文に書き直しなさい。

① A「もしもし、伊藤（いとう）と申しますが、お母（かあ）さんはいらっしゃいますか。」

② B「母は、ただ今お出かけになっています。」

③ A「何時ごろ、お帰りになりますか。」

④ B「今日は少しおそくなると申しておりました。」

⑤ A「それでは、明日（あす）十時に会場にうかがいますとお伝えください。」

⑥ B「はい、伊藤さんは十時にうかがうと伝えておきます。」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講　敬語

1

① イ
② ア
③ ウ
④ ア
⑤ ア
⑥ イ

2

① 買われる
② おかりする
③ 行きます

3

〈いる〉　エ
〈する〉　キ
〈食べる〉　ア
〈言う〉　カ

4

ア・オ・カ　（順不同）

5

（まちがい）　（書き直し）

① いただいて → めしあがって（別解　お食べになって）
② お話しになって → お話しして
③ 拝見されて → ごらんになって（別解　ごらん）
④ おいでになられます → おいでになります（別解　いらっしゃいます・来られます）

6

① イ
② ウ
③ ア

7

① ごらんになっています（別解　見ていらっしゃいます）
② めしあがってください（別解　お食べになってください）
③ 申しておりました

8

② 母は、ただ今出かけております。
⑥ はい、伊藤さんは十時にいらっしゃると伝えておきます。